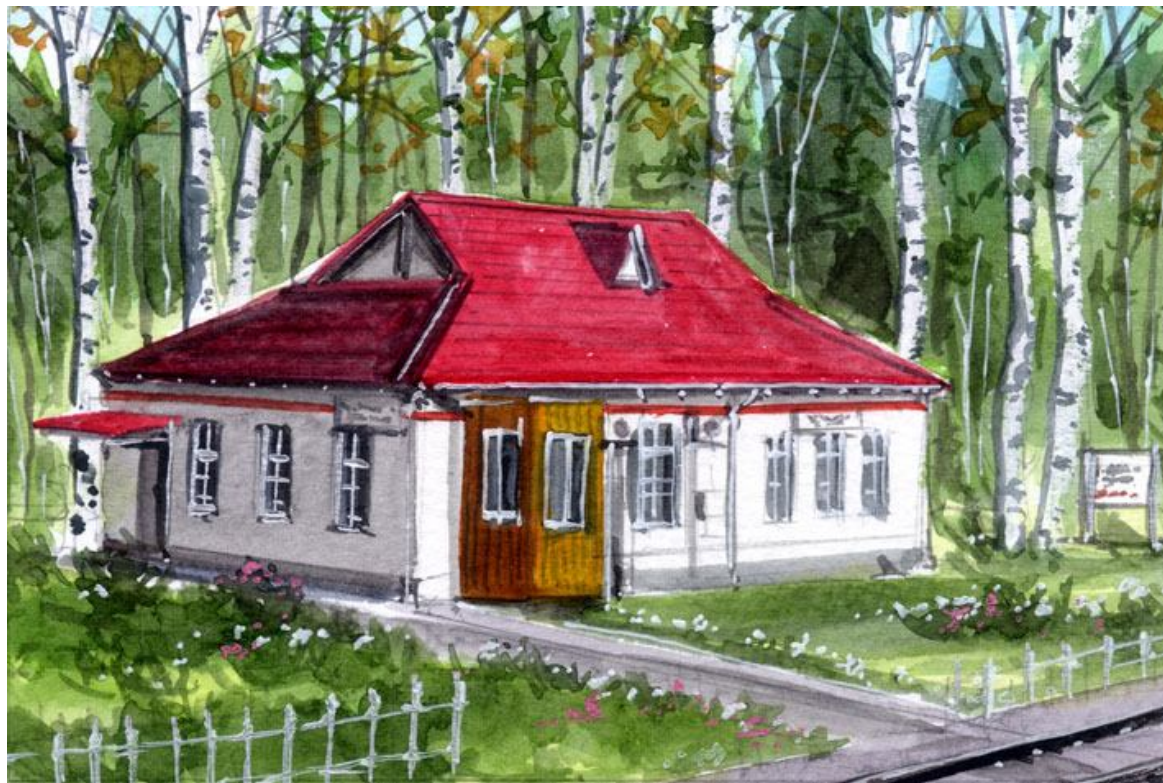


「日々の理科」(第1543号) 2018 (H30)-9,29
水彩画教室「エベルガルド駅」
お茶の水女子大学附属小学校教諭
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員
田中 千尋 Chihiro Tanaka

ロシア沿海州ウスリー地方にあるエベルガルド駅(Э бер г а р д)です 森に囲まれた赤い屋根の小さな駅舎 付近に民家はほとんどなく 一日の乗降客は恐らく数人でしょう しかしこんな駅にも モスクワ行きの直通急行列車が停車すると知って 驚きました たぶんこの駅で乗降した日本人はまだ一人もいないと思うので 私がその一人目になりたいです



これが完成した絵です



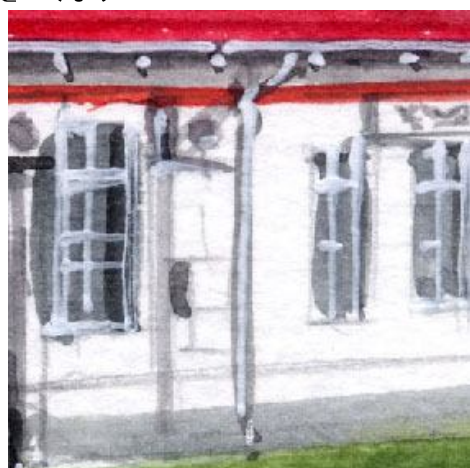
1、背景には白樺をたくさん描きました 白樺はソフトパステルに絵の具で樹皮の模様をつけます



2、森の奥のほうは できるだけ暗くします シャドウ・グリーンに更にブラックを加えました



3、脇の入口付近も暗くします もともと左側の壁は光が当たらず 暗くしておきます



4、右側の壁は陽光が当たっているため明るく ちょっとした影も大切です



5、庭の植栽と花 花のピンクと白は 不透明なペンで描きました



6、駅らしくする為に 画面の端に線路を絵書き増した 線路は難しい対象の一つです